

平成30年度動物実験施設年次報告書

平成 31年 3 月 31 日
動物実験委員会委員長

1. 施設使用目的

● 教育目的利用

- ・ラットの解剖実習(人間栄養学科2年前期 解剖学・病理学実習)
- ・血液に関する実験(人間栄養学科1年後期 生理学実習 I)

● 研究目的利用

- ・たんぱく質の過剰量と腎機能障害の用量-効果関係の検討
- ・脂肪酸給餌組成がマウスの DNA・たんぱく質損傷(細胞毒性)に与える影響
- ・軽度鉄欠乏がマンガン代謝に及ぼす影響
- ・ニッケル欠乏および食塩負荷が血圧に及ぼす影響
- ・高脂肪食摂取マウスにおける創傷治癒促進効果への乳酸の影響
- ・紅映梅摂取がラットの腸内環境に及ぼす影響

● 利用件数：計 9 件

2. 実験施設利用者延べ人数

40人

3. 実験動物匹数

動物種	Wistar 系	F344	SD 系	C57BL/6J	ICR	計	
	ラット	ラット	ラット	マウス	マウス	ラット	マウス
匹数	95	24	81	26	40	200	66